

渦潮電機(株) 電動三輪タクシー生産本格化  
in フィリピン共和国



■渦潮電機株式会社(代表取締役社長 小田雅人、愛媛県今治市大西町九王甲)は、フィリピンにおいて、本格的に電動三輪タクシーの生産と販売をすることになりました。



電動三輪タクシーの仕様	
名称	E-Trikes イートライクス[68VM]
寸法	L3300 W1440 H1820mm
定員	運転手 1 名+乗客 6 名
走行	60km(20km/h一定) 登坂 16°
速さ	最高速度 50km/h
動力	モーター : 5kW AC モーター バッテリー: 鉛酸電池/リチウム電池
価格	7,000~10,000USA ドル(税抜)

フィリピンでは、「庶民の足」としてバイクにサイドカーをつけた「トライシクル」(右図)と呼ばれる3輪タクシーが350万台走っています。

ところが、年式の古いトライシクルは大気汚染の拡大や交通渋滞を引き起こす原因とも言われ、フィリピン政府は様々なプロジェクトを通じてトライシクルの電動化を進めています。その1つとして、アジア開発銀行(ADB)が融資を行い、10万台のトライシクルをEV化するプロジェクトも計画されています。



■開発した量産型電動3輪車「68VM」のPCU (Power Control Unit)部には、県との共同研究で開発した電池制御システム(BMS)を搭載し、リチウムイオン電池やインバーター等の主要機器には国内製品を採用して品質と信頼性を高めています。

■平成27年7月23日(木)愛媛県庁にて、中村知事への事業経過報告及び知事立会いの下での車両のお披露目がありました。渦潮電機(株)からは、小田雅人代表取締役社長、杉野精二専務取締役が出席されました。小田社長が

「現地の自治体に好評であり、東南アジア各国でも販売したい」と、意気込んでおられました。

フィリピンでの道路事情や気候に合わせて、きつい坂道や大雨でも走行できる性能を持った新車両は、当面、自治体や企業向けに年間6千台の販売を目指していますが、普及の課題として小型化による低コスト生産の実現を挙げられていました。

